

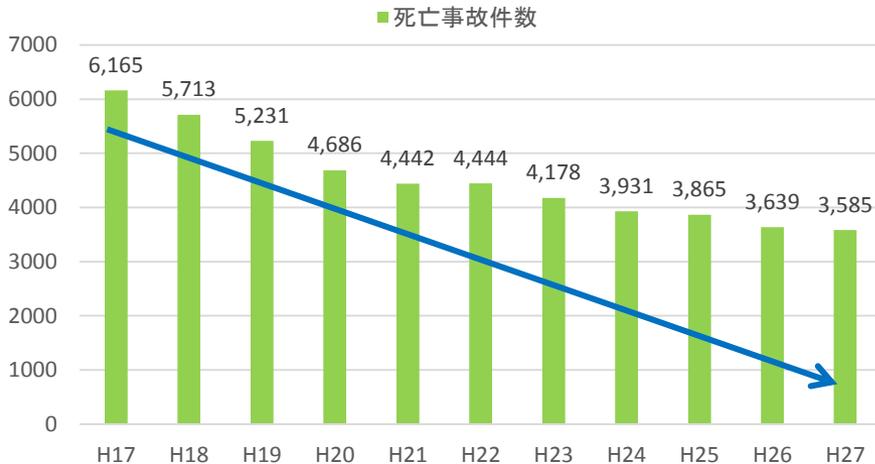
平成29年 1月25日

警 察 庁

# 高齢運転者に係る交通事故の現状

# 75歳以上の高齢運転者に係る交通事故の現状

## 平成17年から平成27年までの死亡事故件数



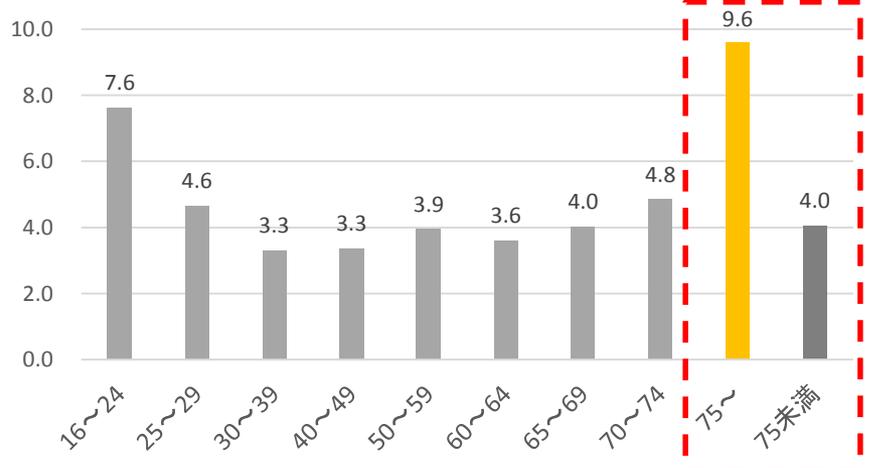
注: 第1当事者が原付以上の死亡事故を計上している。

## 75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数及び構成比



注: 第1当事者が原付以上の死亡事故を計上している。

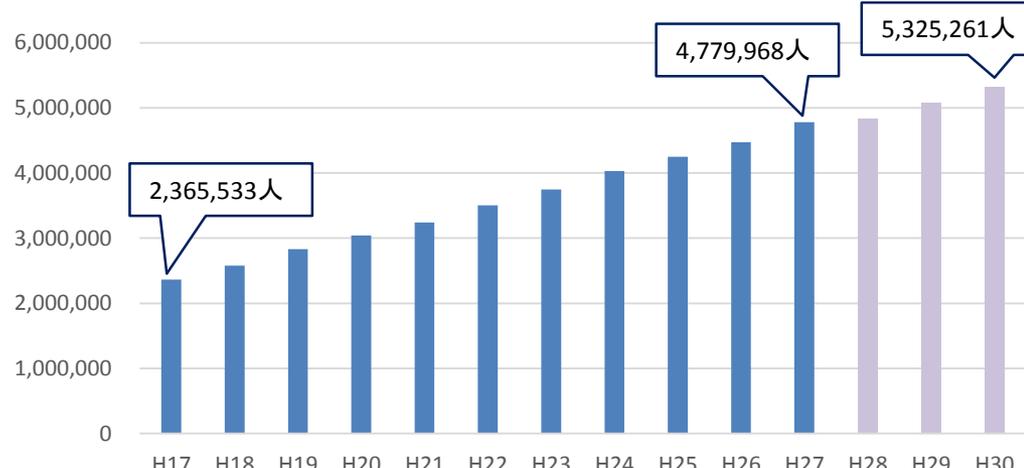
## 第1当事者の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数(平成27年中)



注: 第1当事者が原付以上の死亡事故を計上している。

注2: 平成27年12月末現在の免許保有者10万人当たりで算出した数である。

## 75歳以上の運転免許保有者数の推移(各年12月末)



注: 平成28年以後については一般財団法人全日本交通安全協会による「運転免許保有者数等の将来推計に関する調査研究」(平成24年3月)の運転免許保有者数の推計値に基づく。

自動車運転者(第1当事者)の年齢層別のブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違いに係る死亡事故件数の推移(平成23~27年)

		23年		24年		25年		26年		27年		23~27年合計	
		件数	構成率	件数	構成率								
65歳未満		13	27.7	2	7.4	16	29.1	9	23.1	8	13.8	48	21.2
65歳以上	65~69歳	5	10.6	2	7.4	8	14.5	6	15.4	7	12.1	28	12.4
	70~74歳	10	21.3	6	22.2	11	20.0	5	12.8	9	15.5	41	18.1
	75~79歳	7	14.9	6	22.2	8	14.5	3	7.7	13	22.4	37	16.4
	80~84歳	11	23.4	9	33.3	8	14.5	9	23.1	16	27.6	53	23.5
	85~89歳	1	2.1	2	7.4	4	7.3	6	15.4	5	8.6	18	8.0
	90歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	1	0.4
小計		34	72.3	25	92.6	39	70.9	30	76.9	50	86.2	178	78.8
合計		47	—	27	—	55	—	39	—	58	—	226	—

# 75歳以上高齢運転者死亡事故の人的要因比較（平成27年）

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故について人的要因をしてみると、**操作不適が最も多く、次いで安全不確認、内在的前方不注意（漫然運転等）の順に多く発生している。**
- 一方、75歳未満の運転者による死亡事故は、**安全不確認によるものが最も多く、次いで内在的前方不注意（漫然運転等）、外在的前方不注意（脇見等）の順に多く発生している。**

図 原付以上第一当事者の死亡事故における人的要因比較（平成27年中）

